

第3週の発生動向(2008/1/14~2008/1/20)

1. インフルエンザについては、[インフルエンザ情報](#)に掲載しています。
2. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内においては第45週から、むつ保健所管内において第48週から**警報**が続いています。
3. 感染性胃腸炎については、むつ保健所管内において、第2週から**警報**が続いています。
4. 麻疹については、弘前保健所管内において、患者発生が続いていることから、他の保健所管内においても注意が必要です。

第3週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数										
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	インフルエンザ(内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹				
(85) インフル エンザ	68	5.23	18	1.20	121	8.64	26	3.71	185	20.56	74	12.33	492	7.69	-92	11	5.50	57	5.18											
(74) RSウイルス感染症	5	0.63	1	0.11			4	0.80	9	1.50	1	0.25	20	0.49	3			5	0.71											
(75) 咽頭結膜熱	4	0.50	4	0.44	1	0.11					4	1.00	13	0.32	-10	1	1.00	3	0.43											
(76) A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	6	0.75	20	2.22	2	0.22	4	0.80	5	0.83	2	0.50	39	0.95	16	1	1.00	5	0.71											
(77) 感染性胃腸炎	95	11.88	37	4.11	15	1.67	52	10.40	23	3.83	55	13.75	277	6.76	-46	22	22.00	73	10.43											
(78) 水痘	14	1.75	3	0.33	6	0.67	8	1.60	7	1.17	7	1.75	45	1.10	-26	1	1.00	13	1.86											
(79) 手足口病			3	0.33									3	0.07	-3															
(80) 伝染性紅斑			1	0.11	4	0.44			5	0.83			10	0.24	-1															
(81) 突発性発疹	2	0.25	5	0.56	5	0.56			5	0.83	3	0.75	20	0.49	10			2	0.29											
(82) 百日咳			1	0.11									1	0.02	0															
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0														
(83) ヘルパンギーナ															-1															
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0														
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.38			1	0.11							4	0.10	-2			3	0.43											
(86) 急性出血性結膜炎															0															
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00							3	1.50			5	0.45	0			2	1.00											
(95) マイコプラズマ肺炎					3	3.00							3	0.50	-2															

は警報
 は注意報
 「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人、八戸2人、五所川原1人 (20年計:10人)
- (73) 麻疹(五類全数把握疾患): 弘前3人 (20年計:9人)

感染症の窓

麻疹(五類全数把握疾患)

2008年1月1日より全数把握疾患に指定された麻疹が、本年第3週現在、弘前保健所管内において、合計9人の届出があり、性別では、男性4人、女性5人であり、年齢別では、15歳以下の年齢層が約9割でした(図1)。また、他の保健所管内では、届出がありませんでした。症状は、**発熱**が全症例に見られ、その他には**発疹**、**咳**、**鼻汁**、**コプリック斑**(頬の粘膜にできる白い小粒に似た粘膜の炎症)などが見られています(表1)。これらの方々の中には、ワクチン未接種の方も含まれていました。感染症発生動向調査による第3週までの速報値では、神奈川県が最も多く、東北地方では秋田県が8人、福島県では1人の届出がありました(表2)。予防のためのワクチン接種については、保健所、医療機関に相談することをお勧めします。

表2 2008年第3週までの全国届出数(速報値)

神奈川県	116
福岡県	56
東京都	30
北海道	28
大分県	13
兵庫県	12
青森県	9
秋田県	8
千葉県	8
長野県	5
埼玉県	4
茨城県	3
石川県	3
大阪府	3
福島県	1
栃木県	1
富山県	1
静岡県	1
愛知県	1
三重県	1
鳥取県	1
広島県	1
佐賀県	1
熊本県	1

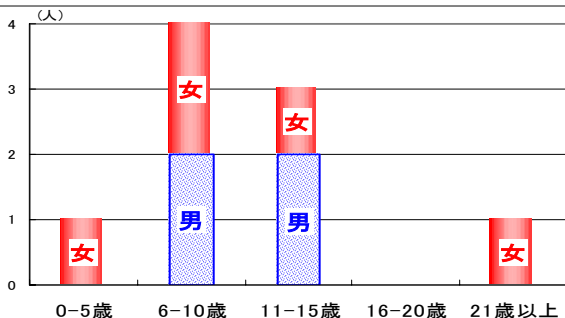


図1 年齢別性別割合

表1 症状別割合

発熱	100%
発疹	89%
咳	78%
鼻汁	56%
コプリック斑	33%
結膜充血	22%
眼脂	11%
腸炎	11%